

世界旅行で
算数探検!
SEG®
www.seg.co.jp

企画・構成
科学的教育グループ

パッケージは
お問い合わせ用です。

トヨピー 世界をめぐる! ロシア探検編

~あたまのいいクマ~

■編集/青木亮二
■イラスト/野中理恵



「さあ、新たな旅のはじまりだよー」

かいつものように、算数の問題を
考えることになる3人なのでした。



まちが 間違いをしたクマはだれ?



「正解だよ。2人ともやるなー」「へへっ、でもトロツキーさん、頭がいいのは本當だよ」「はれたかでも、頭がいいのは本當だよ」「あまたをかきながらトロツキーさんはいいます」「へへっ、でもトロツキーさん、頭が足し算ができるってのはうそでしょ?」「トロツキーさんにすっかり満喫したらヨッピー」「ありがとうございます」という会話。



トロツキーさんの問題

タロ、ジロ、サブの3匹のクマが、3つの整数の足し算をしたんだ。タロは答えが21に、ジロは答えが34に、サブは答えが55になったんだけど、うち1匹は計算間違いをしているんだ。さて、間違いをしたクマはだれでしょう? +一の間違いは仕方がないからやるしてあげてね。

たとえば、 $2+15+3$ をうっかり $2+15-3$ って計算しちゃっても、

$2+15+3=20$ 、うっかりすると $2+15-3=14$

いろいろ「うっかりしてみると」いいよ!

そういう「得意!」 $7+20+8=35$ 、うっかりすると $7+20-8=19$!

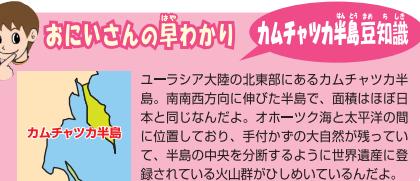
うっかりすると、「-」にしちゃった右の数の2倍ぶん、正しい答えよりも小さくなるわね。

ちょっと待ってよ! ってことは、正しい答えとうっかりの答えの差は偶数?

うっかりの答え同士の差も偶数だね!

じゃあ、21、34、55のうち、間違いの答え以外の2つの差は偶数だから、正しい答えは21と55!

ってことは、間違えたのはジロだね!



ユーラシア大陸の北東部にあるカムチャツカ半島。南南西方向に伸びた半島で、面積はほぼ日本と同じなんだよ。オホーツク海と太平洋の間に位置しており、手付かずの大自然が残っていて、半島の中央を分断するように世界遺産に登録されている火山群がひしめいているんだ。



中学入試問題にアタック!

- Q A、B、Cの3人は、見た目では区別できませんがひとりが天使、ひとりが悪魔、もうひとりが人間です。天使はいつも本当のことしか言わず、悪魔はいつもウソしか言いませんが、人間は本当のこととウソのどちらも言います。いま、この3人がそれぞれ次のように言っています。

- A 「Bは人間です。」
B 「Cは悪魔ではありません。」
C 「Aは人間ではありません。」

このとき、A、B、Cは天使、悪魔、人間のうちだれですか。

(08年・大阪府臨・一部改)

Aが天使とすると、Bは人間、Cは悪魔になりますが、このときCの発言が正しくなるので不合理です。Bが天使とすると、Cは悪魔でも天使でもないので人間となり、Aは悪魔となり、このときつじつまはあります。Cが天使とすると、Aは人間でも天使でもないので悪魔となり、Bは人間になります。このときAは正しい発言をしているので不合理です。

よって、[Aは悪魔、Bは天使、Cは人間]とわかります。

「ヨッピー世界をめぐる!」は、原則として毎月第2週にあります。